

■ファッションデザイン学科カリキュラムの特色■

ファッションデザイン学科では、ファッションの持つ視覚的なシルエットやその記号性を超え、人間の営み「衣・食・住・遊」を含む、ライフスタイルへの提案を大きなテーマに、基礎から高度な表現まで、ファッションに関する幅広い知識と技術を身につけることができます。ファッションやテキスタイルのデザイナーとしてはもちろん、パタンナーなどの技術者、マーチャンダイザー、コーディネーターやアドバイザーなどファッションとテキスタイルのスペシャリストとして、活躍のステージを拡げていきます。

■ディプロマポリシー（学位授与の方針）

新しいライフスタイルを提案する発想力と技術力を基盤とし、新しいマーケットを展開する提案力、デザイン・アートと深く関わっていく次世代の課題（生活環境・文化国籍・世代年齢・快適健康など）を専門的・統合的にファッションの表現または提案する能力を有したと認められた者に学士（芸術工学）を授与する。

■カリキュラムポリシー

ファッションデザイン学科では、衣服やテキスタイルを含むライフスタイル全体に対する新たな提案力をもったデザイナーの養成という教育目標達成のため、産学連携や地域連携プログラムを積極的に取り入れた実践的なカリキュラムを設定している。

1、2年次では、フィールドワークを含む複数の実習を通じて洞察力や分析力を養う。3、4年次では、素材の研究や開発、造形における表現方法、さらに新たな市場の提案に取り組むことで、技術力、表現力、提案力、実践力を身につける。

*年次における基本的な学びの流れ

- ・1年次：発想からプレゼンテーションまでのプロセスを修得し、次世代のファッションデザインを提案する力を養う。
- ・2年次：「ファッションデザイン」「テキスタイルデザイン」「ファッション企画」のコースに分かれて、企画・制作のプロセスを修得する。
- ・3年次：身につけたスキルをライフスタイルやライフステージの提案につなげる。また、ファッションに関するビジネスモデルを構築する理論と技術を学ぶ。
- ・4年次：修得した技術や考え方を応用し、具体的な作品完成までのプロセスを体験し、プレゼンテーション力を養う。卒業制作では、社会性と将来性を重視し、市場に対する問題提起や課題発見型制作に取り組む。

◆4つの柱がファッションデザイン学科のカリキュラムの特徴です

1. 自己の特性を発見し、伸ばすカリキュラム

自己の特性がどの方向に向いているのか見極めるために、基礎課程ではファッションという領域の中で興味・関心の幅を広げ、専門課程では各自の進路に沿って応用力が高められるように組み合わせて配置しています。実習・演習においても、共通と専門の科目を段階的に設定するとともに、専門性の内容を多様化し、各自の目的に沿った履修が出来るように考えられています。

2. 基礎・文化・美学・工学・ビジネスの講義を通じて幅広い知識を学ぶ。

アパレルやテキスタイルを人間と技術との相互関係において理解し、ファッションを歴史・文化・美学・工学の大きな流れの中で捉えます。こうした基本の重視は、現代の流行現象や情報を的確に捉える目を養い、専門分野を理解する際に必要な素養となります。さらに、産業デザインとしての視点からマーケティングや商品企画など、デザインとビジネスをつなぐ方法論も修得します。

3. 「実習」・「演習」でスキルを身に付け、感性を磨きます。

「実習」・「演習」は、ファッションデザイン教育の柱です。感性面と並んで、ITへの対処を含め技術面から内容を充実させ、グローバルな情報メディア社会や産業界への対応をめざしています。1年次の実習では、基本的な知識やスキルを身に付け、各自の進路を見つけることを目的とします。2年次前期からの演習では、コースに分かれて専門性を高め、応用力を身に付けます。卒業研究は、作品提案の卒業制作または論文形式の卒業論文で、4年間の集大成に取り組みます。

4. 実習・演習・卒業研究は積み上げ方式になっています。

必修科目である「ファッションデザイン実習A・B」は、学科共通の実習であり、重要な内容を持っています。配当学年に修得することが望まれます。コース専門科目で選択必修科目である「ファッションデザイン演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「テキスタイルデザイン演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「ファッション企画演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」は、ステップアップの演習であり、順に履修することが望まれます。3年次修了時点までに、各コースの演習のいずれかを修得し、卒業研究につなげてゆきます。卒業研究に着手できる条件は原則として、3年次後期までに開設されている必修科目の実習、選択必修科目の演習のうち、単位が修得できていない科目が1科目以内であり、卒業要件を満たす全取得科目の単位の合計が100単位以上のものとします。

■各専門コースは明確な目標を持っています

①ファッションデザインコース

ファッションブランドで求められるアパレルデザインから舞台やブライダルなどのコスチュームデザイン、パターンメイキングまで高度なスキルと知識を修得します。ITに対応したアパレルCADや人間工学に基づく衣服設計理論、ファッション文化の探究など服作りだけに偏らない幅広い教育を行っています。自分で制作したテキスタイルを用いた衣服制作ができるのも本学科の特色です。デザイナーやパタンナーなどの専門職として活躍することが目標です。

②テキスタイルデザインコース

シルクスクリーンプリントをはじめとした後染めの技法や糸染め、織やニット、フェルトなどの様々な技術をもとにイメージを布で表現する方法を学びます。基礎的な技術を修得した上で、衣服の素材、インテリアファブリック、アクセサリ、繊維を用いた造形表現であるファイバーアートなど、自由な発想で作品を作ります。企業のテキスタイルデザイナーなどの素材に関わる仕事やアーティスト等、幅広い領域で活動できる力を養います。

③ファッション企画コース

「新しいライフスタイルの提案」をスローガンとして取組んでいます。社会性、需要という要素を満たす提案であること、そのためのマーケティング・商品企画・販売計画をトータルにプロデュースできる力を身につけるため、多角的なカリキュラムを組んでいます。

スタイリスト・コーディネーター・プランナーを始め、ブランドマネージャーやバイヤー、マーチャンダイザーなど、ファッションの可能性を追求していく人材を育てています。

この3本が主な柱となっています。講義・実習・演習では、デザインに必要な知識と技術、感性を磨くと同時に、調査や発表、企画力や提案力の育成を図ります。

■カリキュラムフロー図（2020年度入学生用）

	1 年	2 年	3 年	4 年
ファッションデザイン学科	1 年の達成目標	2 年の達成目標	3 年の達成目標	4 年の達成目標
○基礎教育科目 ●芸術工学基礎科目 ●専門	●発想からプレゼンテーションまでのプロセスを修得する。新しいデザインの解釈を深め、次世代に向けたデザインを提案する力を身につける。	●社会や時代が求めるニーズを捉え、生活様式を視野においた企画・制作の手法を身につける。調査・分析からアイデアをカタチにする技術力を養う。を養う。	●デザインに関する基礎技術を提案に繋げる。ライフスタイルやライフステージをテーマにしたビジネスモデルを提案する。	●現代社会を観察し、問題提起や課題発見型制作に取り組む。ファッションデザインの領域を広い視野で捉え、表現力と提案力を身につける。
知識・コミュニケーション	知識（思想・歴史・経済・視知覚・心理・理論等） 科学・技術・人間工学一般 倫理力（大学人としての基礎的な倫理） 文章力・コミュニケーション力 語学力（日本語・外国語） 健康・体力 方法論（デザイン論・材料・色彩計画等） 思考力（論理・論述・発想等） 批判力・客観的理解力 一般的調査・分析・評価方法 その他	●芸術工学概論 ○大学入門セミナー ○基礎英語Ⅰ ○日本語表現Ⅰ ●ファッションデザイン概論 ●民族衣装論 ●アパレル構成論 ●染色表現 ●ファッションデザイン実習A ●糸の造形と織物の基礎 ●ファッションデザイン実習B ●ファッションデザイン画 ●アパレルソーイング基礎 ●ファッションイラストレーション ●パターンメイキング基礎 ●ファッションアクセサリー	●ファッションマーチャндаイジング ●被服人間工学 ●コスメトロジー ●スタイリング ●テキスタイルパターンデザイン ●デザインの現場	
専門的技術	情報収集・調査・分析 課題発見・テーマ設定力 表現（イメージ・モチーフ等） 造形（素材活用方法・完成度等） 技術（加工・アレンジ等） 検証性 メディア・ネットワーク力 プレゼンテーション・展示 発展性・可能性 その他	●コスチュームデザイン ●テキスタイルデザイン演習Ⅰ ●ドレーピング ●ファッションデザイン演習Ⅰ ●ファッション企画演習Ⅰ ●テキスタイルデザイン演習Ⅱ ●ファッションデザイン演習Ⅱ ●ファッション企画演習Ⅱ ●アパレルソーイング応用 ●パターンメイキング応用 ●ニットデザイン	●ファッションアドバイザー ●アパレルCAD ●織物デザインCAD ●ハンドメイドテクニック ●テキスタイルデザイン演習Ⅲ ●ファッションデザイン演習Ⅲ ●ファッション企画演習Ⅲ ●テキスタイルデザイン演習Ⅳ ●ファッションデザイン演習Ⅳ ●ファッション企画演習Ⅳ	●卒業制作
汎用的能力	計画力 問題解決力 創造力（作品や研究自体の独創性） プレゼンテーション・展示・情報発信力 協働力 技術統合力 多様な個性への対応力（UD） 社会実践力 他分野総合力 その他	専門基礎・観察・表現力 造形力・技術力・調査分析力 ユニバーサルファッション	計画力・問題解決力・提案力 皮革デザイン●皮革デザイン応用 ●ファッション写真 ●ファッションブランディング	創造力・社会実践力・国際力 ●ファッション空間演出
社会対応力	マネジメント力 指導力（グループ作業・ワークショップ・統括等） 管理力（作業工程・保安全管理・予算管理等） 危機管理・法的課題対応力（予測・知財等） 開拓力（新しい分野を開拓していく力） 国際性（留学・国際共同・国際発表等） 進路計画力 その他			

	基礎課程			専門課程				
	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期
学科共通科目	ファッションデザイン概論	民族衣装論 アパレル構成論 ファッションイラストレーション	アパレル素材論 ファッションマーチャンダイジング	被服人間工学 服装史 ユニバーサルファッション テキスタイルパターンデザイン	デザインの現場 ハンドメイドテクニク 織物デザインCAD シルクスクリーンプリント	ファッションブランディング ファッションアドバイザー		
	ファッションデザイン画							
	糸の造形と織物の基礎 アパレルソーイング基礎	染色表現 パターンメイキング基礎	ドレーピング パターンメイキング応用	コスチュームデザイン アパレルソーイング応用	アパレルCAD ファッション写真	ニットデザイン		
		ファッションアクセサリー	コスメトロジー	スタイリング	皮革デザイン基礎	皮革デザイン応用		ファッション空間演出
実習・演習	ファッションデザイン実習A	ファッションデザイン実習B	ファッションデザイン演習Ⅰ テキスタイルデザイン演習Ⅰ ファッション企画演習Ⅰ	ファッションデザイン演習Ⅱ テキスタイルデザイン演習Ⅱ ファッション企画演習Ⅱ	ファッションデザイン演習Ⅲ テキスタイルデザイン演習Ⅲ ファッション企画演習Ⅲ	ファッションデザイン演習Ⅳ テキスタイルデザイン演習Ⅳ ファッション企画演習Ⅳ		
特別科目							卒業研究	